

日経テレコンお客様各位

世界市場ベースで業種を解説

「日経 NEEDS グローバル業界解説レポート」提供開始

日経テレコンは1月29日、記事検索、ナビ型記事検索、業界情報の各メニューで「日経 NEEDS グローバル業界解説レポート」（提供元：日本経済新聞デジタルメディア）の提供を開始しました。

2014年1月に提供開始した「日経 NEEDS 業界解説レポート」を**世界市場ベース**に執筆したもので、計14業界（最後のページをご参照下さい）について「業界・市場動向」「競合状況」「注目国・地域」の視点で解説をします。グローバルな業界動向の把握にぜひお役立てください。

**更新**

データの更新・見直しは原則として月1回行います。

**利用方法**

①業界情報「レポート・市場シェア」

下記の業界情報メニューの「レポート・市場シェア」から「日経 NEEDS 業界解説レポート」を選択し、グローバル版のジャンル一覧からご希望の業種を選択してご覧下さい。



②業界情報「業界サマリ」

業界情報メニューの「業界サマリ」の業界別ページからも、「日経 NEEDS グローバル業界解説レポート」をご覧いただけます。

③記事検索・ナビ型記事検索

記事検索、ナビ型記事検索メニューの媒体選択で、「調査・統計・マーケティング」の「研究・調査・レポート」から「日経 NEEDS 業界解説レポート」を選択し、キーワードを入力して検索いただけます。

料	金	(金額は税抜き)
見出し	無料	
本文	1200円/件	

「日経 NEEDS グローバル業界解説レポート」 サンプル（化学業界）

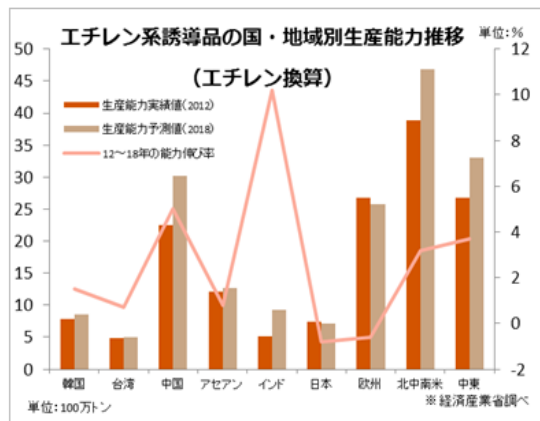
【業界・市場動向】

エチレン、中国増産で供給超へ

化学品原料であるエチレンが世界的な供給過剰になりつつある。経済産業省によると、2018年の世界生産能力は1億8620万トンで、2012年から年率2・8%増える見通しだ。伸びをけん引するのは中国で、石炭から製造する大型プラントが相次ぎ新設される影響で、18年には3000万トンに達する見込み。また米国ではシェールガス革命の影響で天然ガスを使ったエチレン工場が新設される計画だ。アジア地域を中心に石化製品の需要は伸びる見通しだが、生産能力の増加がさらに上回る見通しだ。足元の需要は強くない。欧州経済の停滞や新興国の伸び鈍化により、石化樹脂製品の需要が伸び悩んでいるため、供給過剰がさらに強まる可能性もある。

原料コストを左右する原油価格は2014年後半以降、下落基調にあるがなお高止まりしている。日本の化学大手が主原料とするナフサ（粗製ガソリン）は石油価格に連動する。一方で米国で主流の天然ガスはナフサより安価なため、今後米国の増産が続けば日本勢の競争力が低下するリスクが高まる。

国内化学各社は余剰設備の廃棄に動き出している。三菱化学は茨城県のエチレンプラント1基を2014年に停止した。旭化成ケミカルズは岡山県のコンビナートのうち1基を2016年に停止する。さらに経済産業省は産業競争力強化法50条に基づき国内余剰設備の廃棄計画を業界にまとめるよう要請した。一方で信越化学工業は2018年に米国でエチレン生産を始める見通し。基礎化学品は原料が低コストな米国や中東などで製造し、日本など原燃料コストの高い地域では高機能品の製造に特化する企業が増えそうだ。（2014/11/28調査）



【注目国・地域】

米、シェール革命で一大生産地に

シェールガスの増産が進む米国で、再び石化製品の生産拠点を設ける動きが広がっている。米ダウ・ケミカルは2012年にルイジアナ州の工場を再稼働した。信越化学工業も新工場設立を目指している。台湾の石化大手台湾プラスチックも米国で新工場計画を練る。シェールガス由来のエチレンから石化樹脂など川下の製品を製造する計画も相次ぎ浮上している。

一方で、英蘭ロイヤル・ダッチ・シェルは新工場設立をいったんは決めたが2013年に撤回した。開発にまつわる人件費や資材費が当初の見込みよりも高騰し、採算が合わないプロジェクトも出てきた。日本勢にも影響が出ており、出光興産と三井物産はテキサス州で計画していた化学品プラントを断念した。

シェールガスの採掘プラントの中には埋蔵量が当初計画よりも少なく採算が合わない例も出ている。また中東の石油メジャーが石油増産を続けているために石油価格も安値基調となっている。ガスと石油の製造コストが接近すると割に合わなくなったガス田の採掘プロジェクトが中断するとの見方もある。米国の石化製品の供給能力がどの程度まで拡大するのか、業界が注目している。（2014/11/28調査）

【競合状況】

汎用石化からの脱却急ぐ

総合化学最大手の独BASFは大型買収と事業売却を繰り返して事業構造を変革してきた。今後は水処理や農業関連、リチウムイオン電池材料など特徴のある高機能品で高シェアを獲得して収益の確保を目指す。2014年には戸田工業と電池材料で開発・製造を担う合弁会社を設立することで合意した。アジア地域での開発・製造拠

※ 1 レポートの分量は 1,800~2,500 字程度

「日経 NEEDS グローバル業界解説レポート」の提供対象業界（14 業界）

大分類	業界名
資源・エネルギー	石油・鉱業・エネルギー
素材	化学
	鉄鋼
機械	医療用機器
	重機・建機・プラント
エレクトロニクス	モバイル端末
	コンピューター・通信機器
	電機・家電
	電子部品・電池
輸送機器	自動車・二輪車
	造船・航空機・鉄道車両
生活・医薬	日用品・トイレタリー
	バイオ・医薬品・医療
情報・通信・ネット	ネット事業

以上